

番 号 1

平成22年12月3日

仙北市議会議員 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 1番 高橋 豪

		平成22年12月3日 午前8時31分 受領
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問
発 言 の 要 旨		備 考
<p>◇機構改革 市民サポートセンターについて</p> <p>平成22年11月22日の市議会議員全員協議会において提出された平成23年度仙北市行政組織案のうち、新設の市民サポート課に属する各市民サポートセンターについて、次の点を質問する。</p> <ol style="list-style-type: none">1、市民サポートセンター設置に至る経緯及び設置理由？2、市民サポートセンターの役割と具体的サービスの内容？3、市民サポートセンターを設置するメリットは何か？また課題は何か？4、現行の地域センター、出張所との違いは何か？5、市民サポートセンターにかかる職員数及び諸経費はどの程度見込むものか？6、市民サポートセンターが「他部局との連絡調整」、そして「窓口業務」等を主とするものであれば、新たな出先機関設置に限らずとも現行体制を強化し職員が直接出向く方法もあると思われる。「住民票の宅配サービス」など住民が足を運ばなくても、職員が動くことで、きめ細やかなサービスを展開している行政運営の例もあるが市長の考えを伺う。		
<p>◇物品調達・業務委託の市内発注制度について</p> <p>平成22年4月より「仙北市の物品調達・業務委託等の市内優先発注に関する条例」が施行されているが、次の点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none">1、条例施行前と施行後を比較し、これまでの間どの程度の効果があったのか？2、競争性は担保されているか？3、条例に沿った発注が適切に行われたかチェックされているか？		

◇基幹システム更新 クラウドコンピューティングシステムの導入について

22年9月定例会で法改正のため仙北市基幹システムの更新にかかるコンサルタント料の補正予算が計上されたが、平成23年度中の新システム運用に向けて次の点について伺う。

- 1、現行の基幹システムはどういったものか？
- 2、現行のシステムの導入費用及び年間のランニングコストはどれ程か？
- 3、新システムはどのようなものが想定されるのか？
- 4、法改正等によるシステム更新や年間の運用費・メンテナンス費等、ITコストが大幅に削減できるとされるクラウドコンピューティングシステムの導入を検討してはどうか？

◇超高速ブロードバンドの整備について

本市における超高速ブロードバンド（光ファイバー）の整備については、未だ十分であるとは言えず、今後、防災・医療・福祉・教育等、様々な分野での応用を想定した場合、市民の安全・安心をより一層担保するためにも、早期に全域をカバーすることが求められる。総務省においては、2015年までに全国全ての地域に光ファイバーを整備する「光の道構想」実現に向け協議を進めているが難航している模様である。本市として今後の整備に向けた考えを伺う。

上記のとおり通告します。

平成22年12月3日

仙北市議会議員 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 3番 門 脇 民 夫

		平成22年12月3日 午前11時10分受領
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問
発 言 の 要 旨		備 考
<p>1. 市長の政治姿勢について</p> <p>地方自治法は地方公共団体の役割を「地方公共団体は、住民の福祉の増進を図ることを基本として、地域における行政を自主的かつ総合的に実施する役割を広く担うものとする。」と定めています。そして、今、行政はサービス業だといわれております。</p> <p>市長は来年度ワンストップサービスを基本とする、地域運営体をサポートするサポートセンターを市内各地区に置く構想を提示しました。その目指すものは何か、また、市民会議と市議会の関係についても伺います。</p>		
<p>2. 田沢湖の観光振興について</p> <p>仙北市の主要産業である観光は、平成18年をピークに観光客入り込み数が減少し続けていましたが、平成21年は玉川地区を除き、前年と比較し増加に転じました。韓国のテレビドラマ「アイリス」効果によるものと思います。「アイリス」が韓国や日本で放送され、去年の秋から今年にかけて韓国や日本の多くのファンの方々がロケ地の仙北市を訪れました。</p> <p>フィルムコミッションの、ロケ地誘致の成果だと思います。平成20年まで観光客の減少率の一番高かった田沢湖湖畔も平成21年にはわずかながら増加に転じましたが、仙北市の中央に位置する田沢湖の観光振興は仙北市の観光振興に不可欠です。</p> <p>ドラマにストーリーがあるように、田沢湖湖畔には、いにしえからの伝説や物語があります。これを掘り起こして観光客誘致に結びつけるのも、一つの振興方法です。</p>		

御座石の駐車場西側に「瀉頭の霊泉」があります。伝説では「辰子姫が喉の渇きを覚え水を飲んだところ」だと伝えられております。以前は飲料水に使用できる程きれいな水がこんこんと湧いていましたが、今は汚れた溜まり水であります。ここを整備してきれいな水が湧くようにして、「瀉頭の霊泉」の説明看板に「伝説では、ここで顔を洗えば、辰子姫のように永遠の美しさを保つことができるといわれております。」と表記すれば、訪れる女性の心を掴むことができ、観光客の増加へと結びつくと思いますが、いかがか。

3. 国有林野解放特区について

仙北市は市の面積の 84.3%が森林で、その 72.2%が国有林であります。国有林の有効な利活用が市の発展に貢献します。

昭和 40 年代、50 年代国有林野が開放され、国有林野内の材木の払い下げや、国有林野内の土地の利活用ができていた時には、林業及び林産物による生産額が、旧町村で少なからぬウエイトを占めていました。

現在、就業形態の変化や環境保護に関する意識も変わり、ここ数年新たに林業に就業する人が、増加に転じております。仙北市全域或いは地区を限定しての国有林野解放特区により国有林の払い下げや国有林野内の土地の有効利活用ができるとすれば、市民の所得の向上に大きく貢献しますので、国有林野解放特区の申請をする考えはないか伺います。

4. 仙北市の財政状況について

平成 21 年度の一般会計・特別会計決算とも本会議で認定になり、両会計決算とも黒字となっておりますが、決算委員長報告のとおり一般会計の歳入において、市税等の自主財源比率が 21.04%と、非常に低い割合であります。それにもかかわらず、不納欠損額、収入未済額が両会計とも多額の金額になっております。

加えて平成 28 年度から地方交付税交付額の大幅な引き下げが予想されております。

このままでは、仙北市の財政はより一層厳しい状況になってしまうものと懸念されます。その対策について伺います。

上記のとおり通告します。

番 号 3

平成22年12月3日

仙北市議会議員 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 8番 佐藤 直 樹

		平成22年12月3日 午前10時53分受領	
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨		備 考	
1. 保育園の待機児童対策は ・ 幼保一体化で解消できるのか ・ 事業所内保育施設に仙北市として支援できないか 2. 放課後クラブについて 3. 抱返り溪谷の観光について ・ 遊歩道の延伸は ・ 駐車場の運営について 4. 市民サポートセンターについて			
上記のとおり通告します。			

番 号 4

平成22年12月2日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 18番 藤 原 助 一

		平成22年12月2日 午後3時10分受領	
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨			備 考
(1) 農業後継者対策について (2) 生涯学習について (3) 不登校の現状と予防対策について			
上記のとおり通告します。			

番 号 5

平成22年12月3日

仙北市議会議員 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 19番 高 久 昭 二

		平成22年12月3日 午前10時4分受領
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問
発 言 の 要 旨		備 考
<p>1. 市民生活を守り希望の持てる仙北市をめざして</p> <p>①県立角館高校、角館南高校統合一元化と次世代が希望の持てる角館南高校活用促進について</p> <ul style="list-style-type: none">・角館南高校の「定時制課程」と「大曲養護学校分校、分室」活用計画について・角館南高校に「専攻課程」（介護福祉課程、観光情報ビジネス課程等）の誘致（設置）促進について <p>②市税、国保税軽減と財産差押さえ処分について</p> <ul style="list-style-type: none">・市民が納めやすい市税、国保税軽減について・市税、国保税財産差押さえ処分について <p style="text-align: right;">以 上</p>		
上記のとおり通告します。		

番 号 6

平成22年12月3日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 20番 稲 田 修

		平成22年12月3日 午前8時30分受領
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問
発 言 の 要 旨		備 考
①福祉関係 少子化、高齢化対策について、その後の対応		
②病院関係について 救急医療再開について、その後の対応		
③機構改革と人事について		
④田沢湖マラソンについて		
上記のとおり通告します。		

平成22年12月3日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 17番 田 口 喜 義

		平成22年12月3日 午前10時36分 受領
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問
発 言 の 要 旨		備 考
<p>秋田駒ヶ岳について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 特別天然記念物である、高山植物の盗採防止と安全運行のため、24時間規制（期間限定）によるマイカー乗り入れ規制が必要でないか。 2. 阿弥陀池小屋トイレは、毎年凍結により使用開始が遅れている。環境保全等から、山開きに使用できるように改善できないか。 3. 秋田駒ヶ岳の火山活動により、地熱の変動があるが、登山者の安全・観光への影響・市民の安全対策は十分か。 <p>田沢湖郷土史料館について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第1展示場が解体され、現在、第2展示場（2階）のみの開館となっているが、1階のスペースにも展示することにより、史料館の充実をはかることが必要ではないか。 2. 田沢湖のクニマス（標本）が登録文化財の原簿に登録されている。クニマスの標本が貴重な展示物であることから名称を、田沢湖郷土史料館から田沢湖クニマス史料館に改めることはできないか。 3. 現在特別天然記念物の玉川温泉北投石が展示されていないが、今後、展示により活用をはかるべきではないか。 <p>市長マニフェストと総合計画について</p> <p>市長は就任以来、マニフェストを着実に推進するとして、施策・事業について積極的に取り組むとのことであるが、平成18年に策定した仙北市総合計画をどのように位置付けて実施するのか。</p>		
上記のとおり通告します。		

番 号 8

平成22年12月2日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 9番 黒 沢 龍 己

		平成22年12月2日 午後3時7分 受領
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問
発 言 の 要 旨		備 考
<p>○農林業問題について</p> <p>①農業所得の向上と具体策について</p> <p>②総合産業研究所で開発に取り組んだ麵恋こまち、米の真空パック、無洗米等の販売状況と今後の見通しは</p> <p>③カシノナガキクイ虫による急激な枯死進行で、森林の生態系が変わる恐れがあるといわれている中、ミズナラやカシワなどの枯死防止対策と現状は</p> <p>○仙北市野球場について</p> <p>①田沢湖野球場は非常に老朽化が進み、早急に改修する必要があると思うが、対策と考え方は</p> <p>②角館落合野球場についても短・中期的な点検等で改修計画が必要と思うが、考えは</p>		
上記のとおり通告します。		

平成22年12月2日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 7番 阿部 則比古

		平成22年12月2日 午前9時50分 受領
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問
発 言 の 要 旨		備 考
<p>①従来の観光に対する考えを再考してみる必要があるのではないか。 仙北市、特に角館は通過型の観光客が多くて観光客数の割にはお金が落ちないと言われて久しいが、あまりにも工夫がなさすぎるのではないか。 道の駅の誘致や、先ず中町・横町を江戸時代風の商店街にする等の工夫が必要ではないか。</p> <p>②仙北市商工会は市行政の一翼をになって頑張っているが、県内の他の商工会に比較しても市の補助金が少なすぎるように思われる。市の財政も厳しいがもう少し何とかならないか。</p> <p>③市の補助金で立ち上げ、長年補助金をつぎ込んでも臨界を越えられない事業、例えば山の楽市のような補助事業はもう止めるべきではないか。</p> <p>④世界情勢が不安定な中、とりわけ基軸通貨であるドルは勿論、ユーロ、円も重篤な問題を抱え足元の脆弱さが露見し、投機筋の信任も薄弱になる一方だ。いずれかの通貨が何らかの原因で取り付け騒ぎが始まるなどして第二次世界恐慌に陥るリスクが高まりつつある、貿易の断絶から食料自給率40%、原油産出殆ど0のわが国は大変な事態に陥る。 飲料水と食料を求めて特に首都圏から仙北市には多くの難民が殺到する可能性があるというような万一を想定し、非公式にでもリスクレベルを定めて、仙北市民の生命と財産を保護する方策を考えるべき時期にきているのではないか。</p>		
上記のとおり通告します。		